## 新評議員より一言

# よろしくお願いします

**1組　羽田　直輝**

富士河口湖高校で過ごした三年間は、あっという間でした。三年間を振り返って見るとたくさんの思い出がありますが、特に部活動が印象的です。辛い時は励し合い、嬉しい時は喜び合う事の大切さを学びました。そして、どんな時も共に支え合った十三人の仲間には感謝しています。

これから先私たちは、各々の人生を歩むことになります。日々感謝の気持ちを持ち、頑張っていきたいと思います。

**2組　梶原　美那**

この富士河口湖高校で過ごした三年間は、毎日充実し、とても濃い三年間でした。

私はここで色々なことを学び、たくさんのかけがえのない仲間に出逢いました。高校の友達は一生の友達とよく言われますが、私も一生の友達が出来ました。毎日一緒に授業を受け、休み時間に思いっきり笑い、掃除をして帰るという当たり前のことすら本当に楽しく感じました。これからたくさんの思い出を胸に夢に向かって頑張ります。

**3組　北井　達朗**

私が過ごした富士河口湖高校での三年間は、あっという間の三年間でした。三年間、部活動や勉強などで切磋琢磨し合えた友達との出会いや、部活動や学校生活で、人として成長できたことは、私の一生の宝となりました。

三年間充実した毎日が送れたのは、先生方や家族・地域の方々の支えがあったからだと思います。三年間学んだことを生かし、周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずこれからもがんばっていきたいと思います。

**4組　長田　麻美**

富士河口湖高校で過ごした三年間は、充実していて、あっという間だったと感じています。

高校生活を振り返ってみると、沢山の思い出が蘇ります。紫光祭、修学旅行、球技大会、部活動等どれもかけがえのない思い出です。辛い時に支えてくれた友達や仲間、家族の存在もとても大きかったです。恵まれた環境の中で生活を送れることや、部活動に取り組めることなどを、当たり前に思わず、感謝の気持ちを持ってこれからの生活も送っていきたいと思います。

**5組　舟久保　憲杜**

富士河口湖高校で過ごした三年間は、私にとって非常に大切な財産になりました。

私は、入学してから多くの人との出会いがありました。その中でも、たくさんの仲間と出会えたことが一番の幸せです。また、いつでも私たちのために親身になって指導してくださった先生方は、一生忘れることのない恩師になることと思います。

このような貴重な「出会い」や忘れられない思い出を与えてくれた母校に感謝します。

**6組　宮下　一成**

富士河口湖高校で過ごした日々はとても充実したものでした。紫光祭や修学旅行、強歩大会などの多くの行事に参加し、目標を持ち、努力して、仲間と協力していくことが大切だと学ぶとともに大切な思い出となりました。このような思い出も周りで支えてくれた人たちのおかげだと思い感謝しています。これからも、河高でできた思い出や仲間を大切にして、感謝の気持ちを忘れることなく、一日一日を頑張っていきたいと思います。

**7組　白井　建也**

富士河口湖高校での三年間は、私の人生において、とても有意義な時となりました。

特に力を注いだ部活では技術や力といったものはもちろんのこと、人に対する感謝や仲間への思いやりといったことを学びとれたと感じています。他にも富士河口湖高校で学んだ多くの事を生かして自分の思い描く将来像や夢に向け、一生懸命たゆまぬ努力を続けて行きたいと思います。三年間、本当にありがとうございました。

## 近況報告

# おひさしぶりです

**15期　渡辺　大介**

富士河口湖町役場で勤務しております15期生の渡辺大介です。河高を卒業してからの20年はあっという間でした。現在私は、富士河口湖町役場で勤務しております。大学卒業後、足和田村役場に就職し町村合併を経て富士河口湖町役場職員となりました。

この間色々な経験をさせていただき、行政の立場から地域活性化について取り組んできました。そこで感じたことは、行政だけで地域活性化を実現させることはできないということです。行政だけで何かを成し遂げるということは無理があります。この町に住むすべての方々と力を合わせることで、初めて地域活性化につながります。そのために必要なことは、みんなで目標をしっかりと持ち、そのための手段を様々な立場から実施していくことです。その中にはビジネスもありますし、政治もあると思います。多くの場合で陥りがちなことは、手段が目的になってしまうことです。事業を実施することは目標に向かう一つの手段であるにも関わらず、事業を成功させることが目標になってしまい、本来の目標が見えなくなることがあります。そうなってしまうこと、自己満足という達成感から目標を達成したことと勘違いしてしまうことがあります。そうならないように、しっかりと足元を見直しながら一歩ずつ取り組んでいくことが必要だと思います。

今年は河高同窓会という大きな事業を担当する年代になりました。大きなことを出来る自身はありませんが、同窓会を通じて富士河口湖高校がこの地域に存在することの素晴らしさを少しでも表現できればと考えております。そうなることで、卒業生も在校生も富士河口湖高校に誇りを持ち、これからも河高自体が発展することが期待できると思います。〇〇期生という言い方はこの地域では河高独特の文化だそうです。この表現は、河高卒業生の目に見えないつながりを表しているように感じます。顔も名前も知らない初対面の方でも河高〇〇期生と言われると、なんだかつながっているような気がします。このような絆を大切にし、私も河高15期生ということに誇りを持てるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

## 新生徒会長より

**36期　生徒会長　三室　育英**

「自主性を高める」これは私が生活の中で心掛けていることです。受け身にならず、自らいく中で重要な力の一つですが、今の河高には生徒の自主性が欠けているように思います。

学園祭などの生徒会活動では、生徒の全力で取り組む姿勢が見られ生徒の能力の高さが表れています。しかし、活動の多くが先生方の指示によるものであり、自発的な活動には至っていません。現状が悪いとは言えないのでこれで満足することもできますが、さらなる高みを目指していくことは私たちの成長を促します。〇〇期生の生徒会活動では、私たちの手で私たちの学校を創ることを目標に努力していきます。その過程で私たち生徒にとって必要なものは、同窓会の皆様の応援に他ならません。簡単に達成できる課題ではありませんが、「仰峰不屈」の精神で努力していきますので、これまでに引き続き多大なるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 「旧生徒会長より」

**35期　生徒会長　田中　基之**

三年間の高校生活は早く過ぎるといわれますが、それは私にとっても同じで、特に生徒会長として過ごした一年間は、流れるように過ぎていきました。学校行事を企画し、準備し、運営していくことは、必ずしも成功していたわけではなく、運営に支障を来したこともありました。とても辛い経験ではありましたが、共に活動に臨んでくれた生徒会役員と的確な助言を下さった先生方、落ち込んでいたときに励ましてくれたクラスメイトの存在を改めて感じさせてくれた大切な経験でもありました。最後まで私の生徒会活動を応援し続けてくれた両親と、その意味を教えてくれた河高生、そして忙しい中で時間を割いてくださった先生方と保護者の方々には、とても感謝しています。ありがとうございました。

最後に、第三十五代生徒会長として、これからもこの素晴らしい高校が発展し続けていくことを願っています。

# 『～同窓会総会を終えて～』

**第33回同総会　実行委員長　加藤　源正**

「同窓会なんて知らない。俺には関係ない。」

これが私の最初の気持ちでした。卒業してから20年経ったある日、突然先輩から「来年の同窓会お前等だぞ」と言われました。高校を卒業してからずっと地元から離れていた事や、20年という時間の経過もあり最初は「何で？」と同窓会については積極的な気持ちにはなれませんでした。それに高校時代の事は良い思い出もありましたが、悪い思い出もあったので…。そうこうしているうちに引き継ぎの時期が近づき、先輩方の熱心な説得もあり、結局モヤモヤとしながらも引き受ける事になりました。

実行委員会を立ち上げる為、身近な友達から、高校時代1度も話した事のない人まで30人くらいで集まりました。最初はぎこちなく敬語でお互い探りをいれる感じでしたが、2時間もしたらみんな打ち解けました。

同窓会の準備を始めてみると東日本大震災の影響はとても大きく協賛金を頂くのにも大変な苦労がありました。しかし、それが逆に同窓会の結束を深めました。

「俺等の代で失敗するわけにはいかねえ」「同級に恥じかかせらんねえええ」

つの間にか、忘れていた母校愛的なものが皆に芽生えてきました。（20年間考えた事もなかったくせに）また河高の先輩方や地域の皆さんが「河高のためなら」と支援してくれる事に本当に感動し、「河高って実は凄いな」と母校を誇らしく思うようにさえなりました。（20年間考えた事もなかったくせに）

同窓会当日、学年の約半数の150人がそこにいました。私達はフワフワと心地よい時間を過ごしました。昔、仲良かった人、仲悪かった人、目立っていた人、目立たなかった人、そんな高校時代の立ち位置など全く関係なく皆さんが楽しそうに話をしていました。昔の細かい事を気にしていたのは私だけで、みんな立派なかっこいい大人になっていたのです。同窓会なんて過去を振り返って懐かしむだけの暇つぶしだと思っていましたがそんな事は無く、これからの人生に刺激を与えるとても意味のある会でした。「楽しい」「最高だ」「来て良かった」という声をたくさん聞けました。

同窓会が終わってからも私達14期生は皆、気恥ずかしいくらい仲が良くなり、あちこちで頻繁に集まるようになったようです。こんな機会を与えてくれた母校と河口湖高校同窓会役員の皆さんに感謝でいっぱいです。（先輩、最初「ネネて本当にすみませんでした。」）

在校生の皆さんも、高校生活、おおいに盛り上がったり山ムカついたり好きになったりつまらないと思ったりして生活したらいいと思います。同じ場所の空気を吸っていたってだけの事が実は凄い事だと気付くはずです。今はピンとこないでしょうが。

## 頑張りました！ 母校部活動報告

**山梨県総合体育大会**
男子　総合　10位
女子　総合　9位

**関東大会以上**

**卓球部**
関東大会(6月)
女子　団体　2回戦進出
　シングルス　1回戦敗退
インターハイ(8月)
女子　シングルス　2回戦進出
　ダブルス　1回戦敗退
関東新人選抜大会(12月)
女子　団体　20校中5位
全国選抜大会県予選(1月)
男子　シングルス　優勝
　→3月の全国選抜大会へ
女子　シングルス　優勝
　→3月の全国選抜大会へ

**漕艇部**
全国選抜大会(3月)
男子　ダブルスカル　3位入賞
女子　クォドルプル　予選敗退
関東大会(6月)
男子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
　ダブルスカル　準決勝進出
　クォドルプル　優勝
女子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
　ダブルスカル　準決勝進出
　クォドルプル　3位入賞
国体関東ブロック予選(7月)
　4部門に出場、2部門で国体へ
インターハイ(8月)
男子　ダブルスカル　7位入賞
　クォドルプル　準々決勝進出
女子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
　クォドルプル　準々決勝進出
国民体育大会(10月)
男子　クォドルプル　準決勝進出
女子　クォドルプル　敗者復活戦敗退
関東選抜大会(11月)
男子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
　ダブルスカル　準決勝進出
　クォドルプル　6位入賞
女子　シングルスカル　2位入賞
　→3月の全国選抜大会へ
　ダブルスカル　5位入賞
　クォドルプル　6位入賞

**剣道部**
全国選抜大会(3月)
男子　団体　予選リーグ敗退
関東大会(6月)
男子　団体　予選リーグ敗退
　個人　2回戦進出
インターハイ(8月)
男子　個人　2回戦進出
全国選抜大会山梨県予選(12月)
男子　団体　優勝
　→3月の全国選抜大会へ

**柔道部**
関東大会(6月)
男子　団体　1回戦敗退

**陸上部**
関東大会(6月)
男子　三段跳び　予選敗退
女子　走り高跳び　予選敗退
　5000m競歩　予選敗退
関東新人大会(10月)
女子　やり投げ　予選敗退

**カヌー部**
関東大会(6月)
男子　K－1　8位入賞
　K－2　7位入賞
女子　K－1　優勝
インターハイ(8月)
女子　500mK－1　7位入賞
　200mK－1　8位入賞
日本カヌースプリントJr選手権大会(8月)
女子　500mK－1　5位入賞
　200mK－1　3位入賞
　500mK－2　7位入賞
　200mK－2　3位入賞
関東選抜大会(9月)
男子　K－1　準優勝
　K－2　優勝
女子　K－1　優勝
　K－2　5位入賞
日本カヌースプリントJrユース
　兼2013海外派遣選手選考会(9月)
女子　500mK－1　優勝
　500mK－2　優勝
国民体育大会(10月)
女子　200mK－1　6位入賞

**弓道部**
インターハイ(7月)
男子　個人　予選敗退
関東選抜大会(9月)
男子　個人　予選敗退

**ソフトテニス部**
関東大会(6月)
男子　個人　1回戦敗退

**放送部**
NHK全国高等学校放送コンテスト大会(7月)
ｼﾞｬｰﾅﾘｽﾄ部門　出場
ﾃﾚﾋﾞﾄﾞﾗﾏ部門　出場

**写真部**
全国高等学校総合文化祭(8月)
個人　出場
関東大会(2月)
個人　出場

**社会科学部**
山梨県社会科学研究発表大会(11月)
団体　最優秀賞
　→8月の全国総合文化祭へ

**なぎなた同好会**
関東大会(6月)
個人　決勝トーナメント進出
山梨県新人大会(10月)
個人　2位入賞
　→3月の全国選抜大会へ

**スキー**
関東大会(1月)
男子スラローム　34位
インターハイ(2月)
男子スラローム　出場